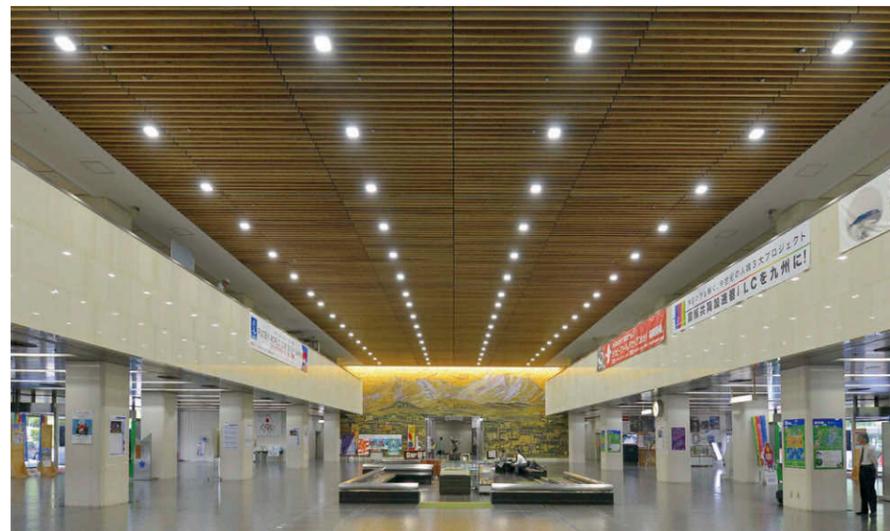
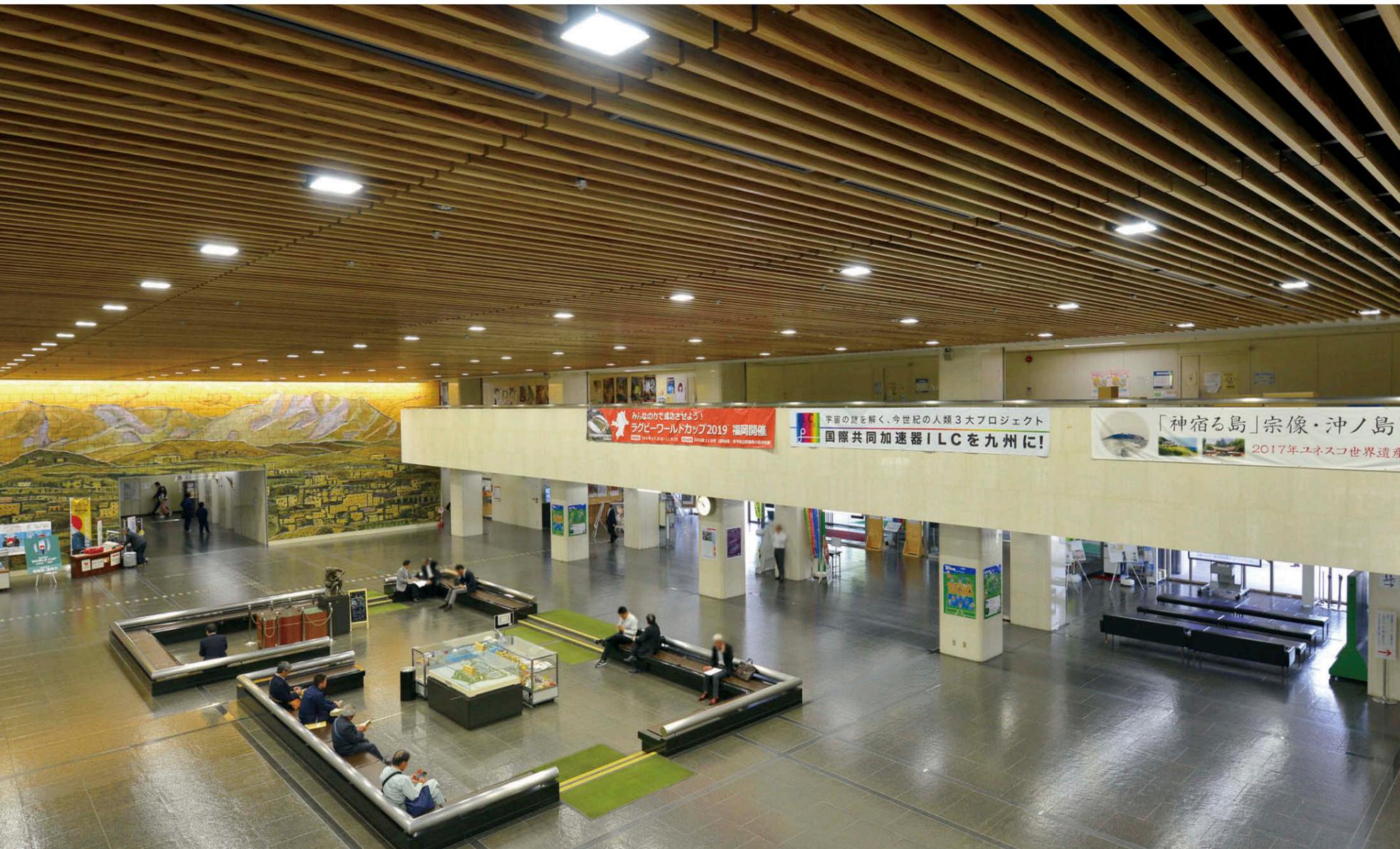


福岡県庁舎行政棟・県民ホールのリニューアルは、特定天井が建築基準法に適合するためのもので、県産材使用の木質ルーバー天井とし、木彫の見栄えを良くするよう器具を黒色に統一しています。照明は省エネ性能が優れ、高天井での光源交換の困難さを解決するLED高天井器具を多用。木質ルーバー天井の間から自然に光を落とし、温かみのある落ち着いた雰囲気形成しつつ眩しさを抑制しています。

(株)黒川紀章建築・都市設計事務所と(株)日建設と(株)九州開発計画研究所の設計により1981年に竣工した福岡県庁舎は、行政棟、議会棟、警察棟から構成されています。地上11階、地下3階建ての行政棟は、1~2階吹き抜けとした面積約740㎡の開放的な県民ホールが設置されており、東側と西側の壁面には文化勲章受章者・田崎廣助作の壁画を展示。上階に配置されている行政フロアへ導く動線の核の役割を果たしていると同時に、待合わせ場所、県政PRの掲載場所として活用されています。



【物件概要】
所在地：福岡県福岡市博多区東公園7番7号
延床面積：77,082㎡
構造・規模：SRC造、地上11階、地下3階
施工：福岡県
設計：建築/榎本建築設計事務所 電気/榎工コーテック
施工：建築/松本建設(株) 電気/吉松電装(株)
リニューアル完成年月：2018年2月



分散配置した72台のLED高天井器具を1階から望む。



木質ルーバー天井に配置したLED高天井器具①。



採用されたLED高天井器具角形器具①。

県民ホールは木質ルーバー天井への改修に伴い、省エネで、かつ光源交換の困難さを解決するLED高天井器具にリニューアル。

県民ホールは、これにつながる北玄関と南玄関と共に建物の導入部であり、県庁舎の風格を表現する重要な場所。県民を各行政部門へ導く動線のターミナルとなっており、そこに総合案内、休憩・待合わせスペース、県政PRコーナーを配置。これに応じて今回の照明リニューアルでは、ホールの用途に応じた調光パターン制御の可能な計画が求められるため、高さ6.9mの木質ルーバー天井面にLED高天井器具調光タイプを、ピッチ縦4m横2mにして72台が均等に分散配置。このLED高天井器具は、省エネはもちろん長寿命によるメンテナンスフリーのほか、瞬時点灯再点灯、

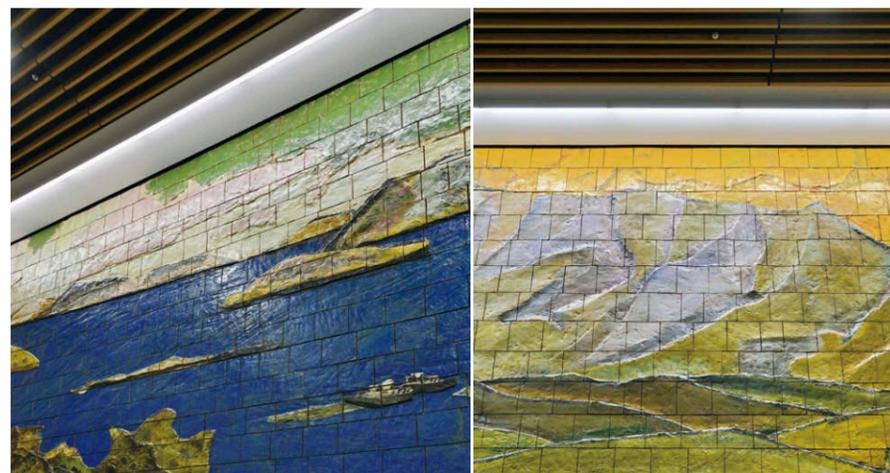
耐衝撃性などの特性があり、かつ照明制御と組み合わせると調光可能(約5%~100%連続調光)として用途に応じた適切な明るさを確保しています(調光100%時約940ルクス、通常運行調光40%時約400ルクス)。また県民ホールの東側と西側に設けられた有田焼陶板を使用した油絵の壁画には、TENQOOウォールウォッシャー(調光対応)を壁面に沿ってそれぞれ15台を均等に配置。縦約7m、横約20mの大きな壁画を建築と一体化した柔らかな間接光により美しく浮き上がらせ、県民ホールの空間照明として落ち着いた雰囲気を演出しています。

リニューアル後の県民ホールを2階から望む木質ルーバー天井に改修し、LED高天井器具を分散配置。省エネと省メンテナンスを実現しつつ眩しさを抑制①②。



① LED高天井器具(調光形) LEDJ-10024N-LD9

② TENQOOウォールウォッシャー(調光対応) LEKT411693N-LS9(特注)



ホールの西側と東側の壁画用にはTENQOOウォールウォッシャーによる間接光で照射②。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
県民ホール	①LED高天井器具(調光形)	LEDJ-10024N-LD9	72	消費電力:68.7W
	②TENQOOウォールウォッシャー(調光対応)	LEKT411693N-LS9(特注)	30	消費電力:43.0W